

地域とともに児童の安全を守る PTA の取り組み

富士吉田市立吉田西小学校

1. 目的と経緯

本校の通学路は交通量が多い箇所や見通しの悪い交差点が点在しており、児童の登校時における交通事故防止は喫緊の課題となっています。これまでも保護者の皆様には登校班の旗振りにご協力いただいておりますが、より実効性の高い安全確保を目指し、本講習会を企画いたしました。

本会の目的は、保護者自身が警察署や教習所所員の専門的な知見に基づいた「正しい旗振りの技術」を習得することで、児童が安全に横断歩道を渡れる環境を整えるとともに、地域全体で交通安全意識を向上させることにあります。

2. 内容

当日は、岳麓自動車教習所にて交通安全の専門家を講師にお招きし、座学と実技を組み合わせた以下のプログラムを実施しました。

① 警察署員による交通安全講義

富士吉田警察署の署員より、近年の交通事故発生状況や、ドライバーから見た歩行者の死角について講義をいただきました。「歩行者を守る」だけでなく「自身の身を守る」ための立ち位置、ドライバーに対する明確な意思表示の重要性など、効果的な旗振りの基本姿勢について学びました。

② 自動車教習所所員による指導・実演

続いて、岳麓自動車教習所の所員を講師に迎え、より具体的な技術指導が行われました。

- 正しい旗の持ち方と動作： 遠くからでも視認しやすい旗の振り方や、静止の合図の出し方。
- 安全な横断の誘導： 登校班の児童を安全に横断歩道へ進入させ、全員が渡りきるまでの一連の流れとタイミング。
- 実演訓練：

実際の道路環境を想定し、参加者が交代で旗振りを実践。講師から「旗を出すタイミング」や「周囲の安全確認のポイント」について、その場で具体的なアドバイスを受けました。



3. 成果と課題

成果

本講習会を通じて、参加者からは「これまで自己流で行っていたが、正しい方法を知ることで自信を持って活動できるようになった」との声が多く聞かれました。特に、危険箇所が多い本校の通学路において、単に旗を持つだけでなく、「ドライバーとアイコンタクトを取る」とや「適切なタイミングで合図を送ること」といった、実践的かつ効果的な方法を学べたことは大きな収穫です。保護者の安全に対する意識が技術面から強化されたと言えます。

また今回の講習会はNHKの「News かいドキ」にて放送され、多くの保護者に周知することができました。

課題

今後の課題としては、今回参加できなかった保護者への周知と技術の共有が挙げられます。講習で学んだ「正しい旗振りのやり方」をマニュアル化し、次年度以降の当番活動に反映させていく必要があります。

